

(2) 今期の景況と来期の見通し

製 造 業

業況・売上額・受注残・収益

製造業の主要指標をみると、業況は△9.5で前期比4.2ポイント減とやや低調感が強まった。売上額は△4.2で2.2ポイント増とわずかに減少幅が縮小し、受注残は△11.0で増減なく前期並の減少が続き、収益は△15.8で6.2ポイント減と大きく減益幅が拡大した。来期の見通しについては、業況は厳しさがかなり和らぎ、売上額はやや改善し、受注残は増加に転じ、収益は減益幅が大幅に縮小する見込み。

業種別でみると、業況は「一般機械器具・金型」「電気機械器具」とともに大きく厳しさが和らぎ、「金属製品・建設用金属製品」は極端に低調感が強まった。売上額は、「一般機械器具・金型」は増加に転じ、「金属製品・建設用金属製品」は増加から減少に転じ、「電気機械器具」はかなり減少幅が縮小した。受注残は、「一般機械器具・金型」は極端に改善し、「金属製品・建設用金属製品」「電気機械器具」とともに大きく減少を強めた。収益は、「一般機械器具・金型」は増加に転じ、「金属製品・建設用金属製品」は増加から減益に転じ、「電気機械器具」はやや減益幅が拡大した。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は31.1で11.7ポイント増、原材料価格は56.7で8.4ポイント増とともに大きく上昇傾向が強まり、在庫は△0.9で5.6ポイント減と過剰から適正水準となった。来期の見通しについては、販売価格、原材料価格はともに上昇傾向がかなり弱まり、在庫は適正水準が続く見通し。

業種別でみると、販売価格は、「一般機械器具・金型」は大きく上昇幅が拡大し、「金属製品・建設用金属製品」は大幅に上昇傾向が弱まり、「電気機械器具」は上昇に転じた。原材料価格は、「一般機械器具・金型」は大きく上昇幅が拡大し、「電気機械器具」はやや上昇傾向が強まり、「金属製品・建設用金属製品」は前期並の上昇が続いた。在庫は、「一般機械器具・金型」は過剰から適正水準となり、「金属製品・建設用金属製品」は適正水準から過剰となり、「電気機械器具」は適正範囲に保たれた。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは△13.0で4.5ポイント減と多少窮屈感が強まった。借入難易度は2.6で11.7ポイント増と好転し、借入をした企業は3.8%で3.5ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は9.4%で2.1ポイント増加した。来期の見通しについて、資金繰りは窮屈感が大きく緩和し、借入をする企業はかなり増加し、設備投資を実施する企業はやや減少する見込み。

業種別でみると、資金繰りは、「一般機械器具・金型」は大幅に窮屈感が緩和し、「金属製品・建設用金属製品」は厳しい状況に転じ、「電気機械器具」は大きく苦しさが強まった。借入難易度は、「金属製品・建設用金属製品」はかなり容易さが増し、「一般機械器具・金型」は極端に厳しさが和らぎ、「電気機械器具」は前期同様となった。今期借入をした企業は、「金属製品・建設用金属製品」はやや減少し、「一般機械器具・金型」「電気機械器具」とともに前期並となった。設備投資を実施した企業は、「電気機械器具」「金属製品・建設用金属製品」とともに増減なく推移し、「一般機械器具・金型」は大きく減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、1位は「原材料高」で52.8%となった。次いで2位は「売上の停滞・減少」で28.3%、3位は「仕入先からの値上げ要請」で20.8%となった。以下、4位は「利幅の縮小」で18.9%、5位は「人手不足」で15.1%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で52.8%となった。次いで2位は「販路を広げる」で50.9%、3位は「情報力を強化する」で13.2%となった。以下、4位は「工場・機械を増設・移転する」「人材を確保する」「新製品・技術を開発する」「機械化を推進する」でいずれも7.5%、5位は「提携先を見つける」で5.7%となった。

業種別動向

(1) 金属製品、建設用金属製品

業況は△23.3で前期比22.8ポイント減と極端に低調感が強まった。売上額は△11.0で11.6ポイント減、収益は△40.4で53.7ポイント減とともに増加から減少・減益に転じ、受注残は△9.6で6.5ポイント減と大きく減少を強めた。今期の「金属製品、建設用金属製品」は、業況、売上額、受注残、収益はいずれも悪化した。価格動向については、販売価格は28.2で7.1ポイント減と大幅に上昇傾向が弱まり、原材料価格は56.0で0.2ポイント減と前期並の上昇が続いた。在庫は12.2で10.3ポイント増と適正水準から過剰となった。資金繰りは△0.2で8.8ポイント減と厳しい状況に転じ、借入難易度は14.3で14.3ポイント増とかなり容易さが増した。借入をした企業は9.1%で3.4ポイント減少し、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は増減なく0.0%となった。

来期の見通しについては、業況は厳しさが大きく和らぐ見込み。売上額は減少幅がかなり拡大し、受注残は増加に転じ、収益は減益幅が大幅に縮小する見通し。価格動向については、販売価格はやや上昇幅が拡大し、原材料価格は上昇傾向が大きく弱まり、在庫は過剰感がかなり改善し、資金繰りは容易となり、設備投資を実施する企業は今期並となる見込み。

経営上の問題点については、1位は「原材料高」で54.5%、2位は「仕入先からの値上げ要請」で36.4%、3位は「売上の停滞・減少」で27.3%となった。重点経営施策については、1位は「経費を節減する」で63.6%、2位は「販路を広げる」で54.5%、3位は「情報力を強化する」「新製品・技術を開発する」「提携先を見つける」「人材を確保する」「労働条件を改善する」でいずれも9.1%となった。

(2) 一般機械器具、金型

業況は△1.9で前期比10.5ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は16.1で24.2ポイント増、収益は19.2で32.3ポイント増とともに増加に転じ、受注残は△7.5で25.8ポイント増と極端に改善した。今期の「一般機械器具、金型」は、業況、売上額、受注残、収益はいずれも改善した。価格動向については、販売価格は36.9で12.8ポイント増、原材料価格は56.7で5.6ポイント増とともに大きく上昇幅が拡大した。在庫は△1.6で14.1ポイント減と過剰から適正水準となった。資金繰りは△7.6で5.9ポイント増と大幅に窮屈感が緩和し、借入難易度は0.0で20.0ポイント増と極端に厳しさが和らいだ。借入をした企業は増減なく0.0%となり、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は0.0%で14.3ポイント減少した。

来期の見通しについては、業況は今期同様で推移する見込み。収益は今期並の増益となり、売上額は増加幅がやや縮小し、受注残はかなり改善する見通し。販売価格、原材料価格はともに上昇傾向が大きく弱まるとみられる。在庫は適正範囲に保たれ、資金繰りは窮屈感がやや緩和し、設備投資を実施する企業は今期並となる見込み。

経営上の問題点については、1位は「人手不足」「原材料高」「仕入先からの値上げ要請」でいずれも40.0%、2位は「人件費の増加」で20.0%となった。重点経営施策については、1位は「経費を節減する」で60.0%、2位は「販路を広げる」「情報力を強化する」「人材を確保する」「工場・機械を増設・移転する」でいずれも20.0%となった。

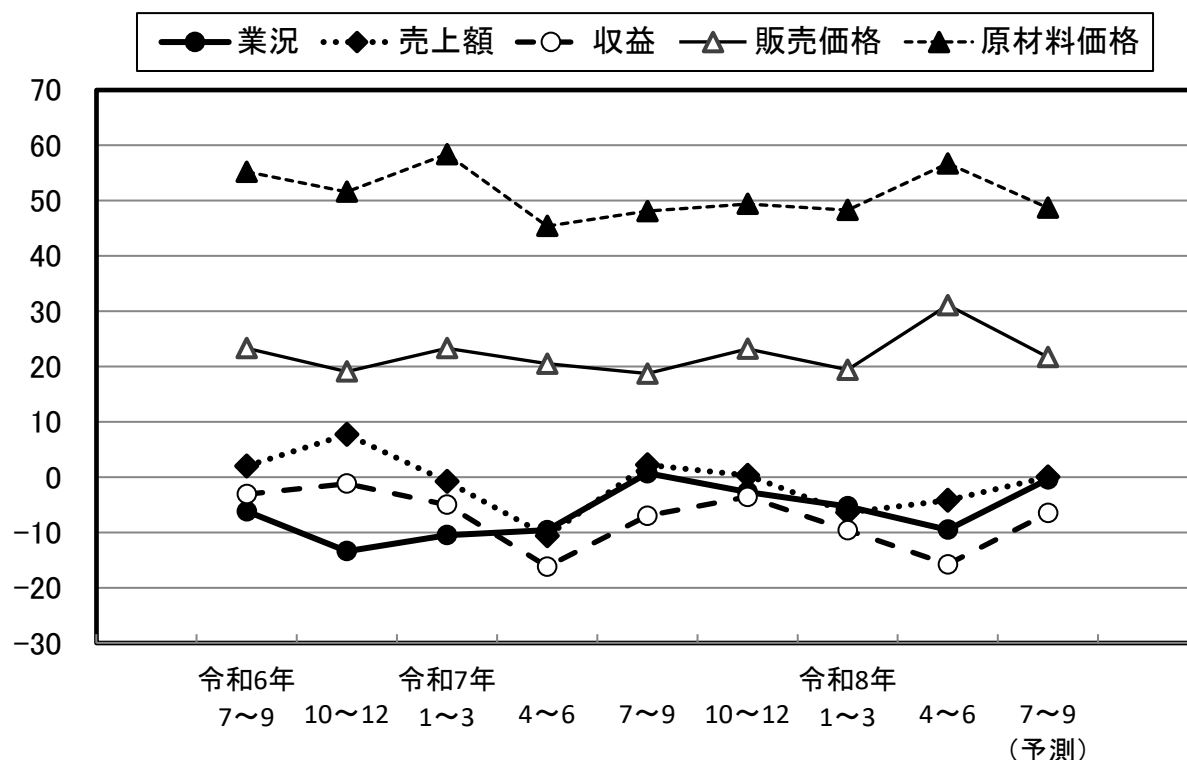
(3)電気機械器具

業況は△0.2で前期比5.6ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は△4.4で6.0ポイント増とかなり減少幅が縮小し、収益は△16.9で2.5ポイント減とやや減益幅が拡大し、受注残は△16.9で10.2ポイント減と大きく減少を強めた。今期の「電気機械器具」は、業況、売上額は改善し、受注残、収益は悪化した。価格動向については、販売価格は34.8で36.3ポイント増と上昇に転じ、原材料価格は53.0で4.4ポイント増とやや上昇傾向が強まった。在庫は1.0で1.0ポイント減と適正範囲に保たれた。資金繰りは△15.5で10.8ポイント減と大きく苦しさが強まり、借入難易度は0.0で前期同様となった。借入をした企業は0.0%で前期並となり、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は14.3%で増減なく推移した。

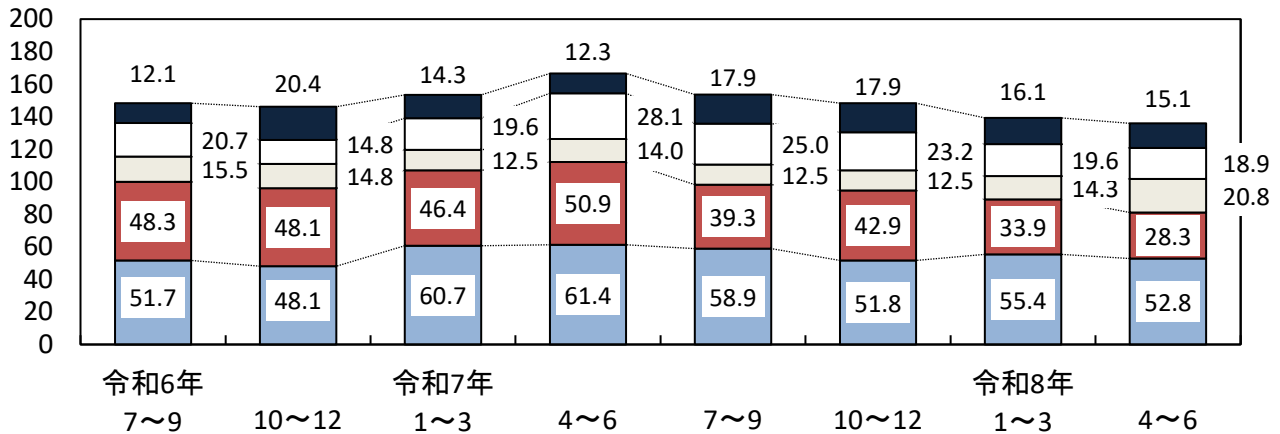
来期の見通しについては、業況は好転する見込み。売上額、受注残、収益はいずれも増加に転じる見通し。販売価格は上昇傾向が大幅に弱まり、原材料価格は今期同様の上昇が続くとみられる。在庫は適正範囲に保たれ、資金繰りは容易となり、設備投資を実施する企業は今期同様となる見込み。

経営上の問題点については、1位は「原材料高」で71.4%、2位は「人手不足」で42.9%、3位は「仕入先からの値上げ要請」で28.6%となった。重点経営施策については、1位は「販路を広げる」「経費を節減する」でともに42.9%、2位は「新製品・技術を開発する」「不採算部門を整理・縮小する」「機械化を推進する」「労働条件を改善する」「不動産の有効活用を図る」でいずれも14.3%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測



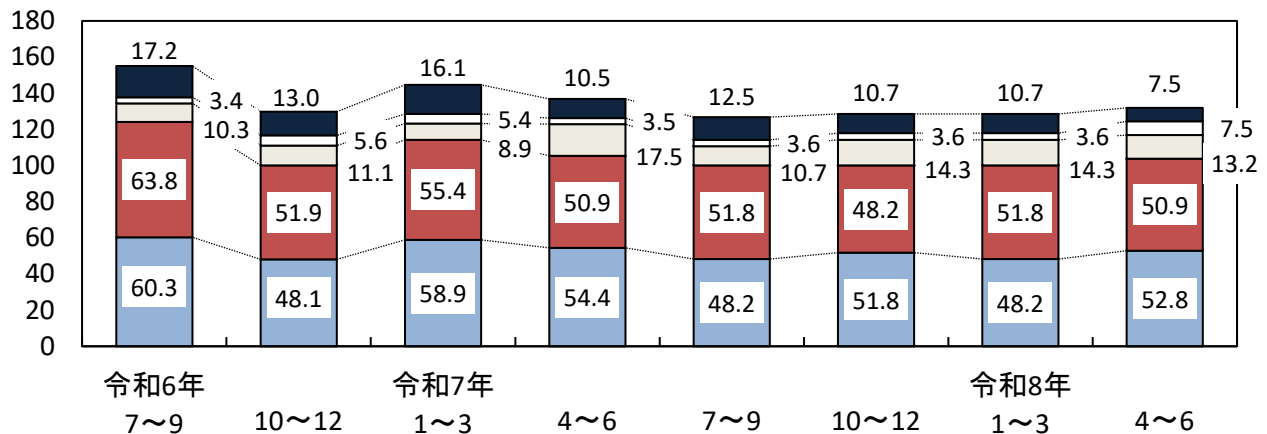
製 造 業 経 営 上 の 問 題 点 (%)



■原材料高 ■売上の停滞・減少 □仕入先からの値上げ要請 □利幅の縮小 ■人手不足

	令和7年7月～9月期	令和7年10月～12月期	令和8年1月～3月期	令和8年4月～6月期
第1位	原材料高 58.9 %	原材料高 51.8 %	原材料高 55.4 %	原材料高 52.8 %
第2位	売上の停滞・減少 39.3 %	売上の停滞・減少 42.9 %	売上の停滞・減少 33.9 %	売上の停滞・減少 28.3 %
第3位	利幅の縮小 25.0 %	利幅の縮小 23.2 %	利幅の縮小 19.6 %	仕入先からの値上げ要請 20.8 %
第4位	人手不足 17.9 %	人手不足 17.9 %	人手不足 16.1 %	利幅の縮小 18.9 %
第5位	仕入先からの値上げ要請 12.5 %	仕入先からの値上げ要請 12.5 %	仕入先からの値上げ要請 14.3 %	人手不足 15.1 %

製 造 業 重 点 経 営 施 策 (%)



■経費を節減する ■販路を広げる □情報力を強化する □工場・機械を増設・移転する ■人材を確保する

	令和7年7月～9月期	令和7年10月～12月期	令和8年1月～3月期	令和8年4月～6月期
第1位	販路を広げる 51.8 %	経費を節減する 51.8 %	販路を広げる 51.8 %	経費を節減する 52.8 %
第2位	経費を節減する 48.2 %	販路を広げる 48.2 %	経費を節減する 48.2 %	販路を広げる 50.9 %
第3位	人材を確保する 12.5 %	機械化を推進する 14.3 %	情報力を強化する 14.3 %	情報力を強化する 13.2 %
	機械化を推進する 12.5 %	情報力を強化する 14.3 %		
第4位	新製品・技術を開発する 10.7 %	人材を確保する 10.7 %	人材を確保する 10.7 %	工場・機械を増設・移転する 7.5 %
	情報力を強化する 10.7 %		機械化を推進する 10.7 %	人材を確保する 7.5 %
				新製品・技術を開発する 7.5 %
				機械化を推進する 7.5 %
第5位	教育訓練を強化する 3.6 %	提携先を見つける 7.1 %	労働条件を改善する 5.4 %	提携先を見つける 5.7 %
	工場・機械を増設・移転する 3.6 %			

卸 売 業

業況・売上額・収益

卸売業の主要指標をみると、業況は△12.0で前期比5.2ポイント増とやや厳しさが和らいだ。売上額は△8.8で15.6ポイント減と増加から減少に転じ、収益は0.3で11.3ポイント増と好転した。来期の見通しについては、業況は今期同様の厳しさが続き、売上額は減少幅が大きく縮小し、収益は増加から減益に転じる見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は47.8で14.8ポイント減とかなり上昇傾向が弱まり、仕入価格は68.6で3.6ポイント減とわずかに上昇幅が縮小し、在庫は△0.8で2.6ポイント減と適正範囲に保たれた。来期の見通しについては、販売価格は上昇傾向が大幅に強まり、仕入価格は多少上昇が弱まり、在庫は適正水準から不足となる見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

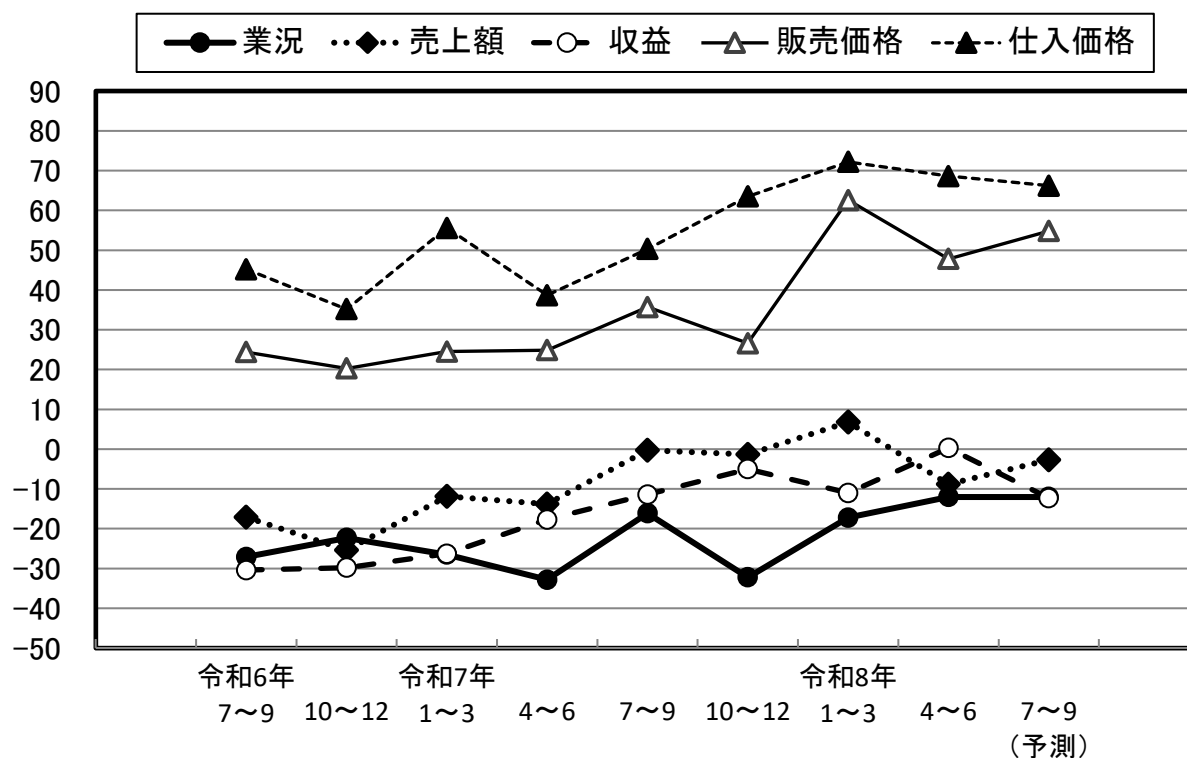
資金繰りは△2.3で7.6ポイント増と大きく窮屈感が緩和し、借入難易度は0.0で7.7ポイント増とかなり厳しさが和らいだ。借入をした企業は増減なく18.8%となった。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は6.3%で6.2ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感がやや強まり、借入をする企業は大きく減少し、設備投資を実施する企業は今期並となる見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

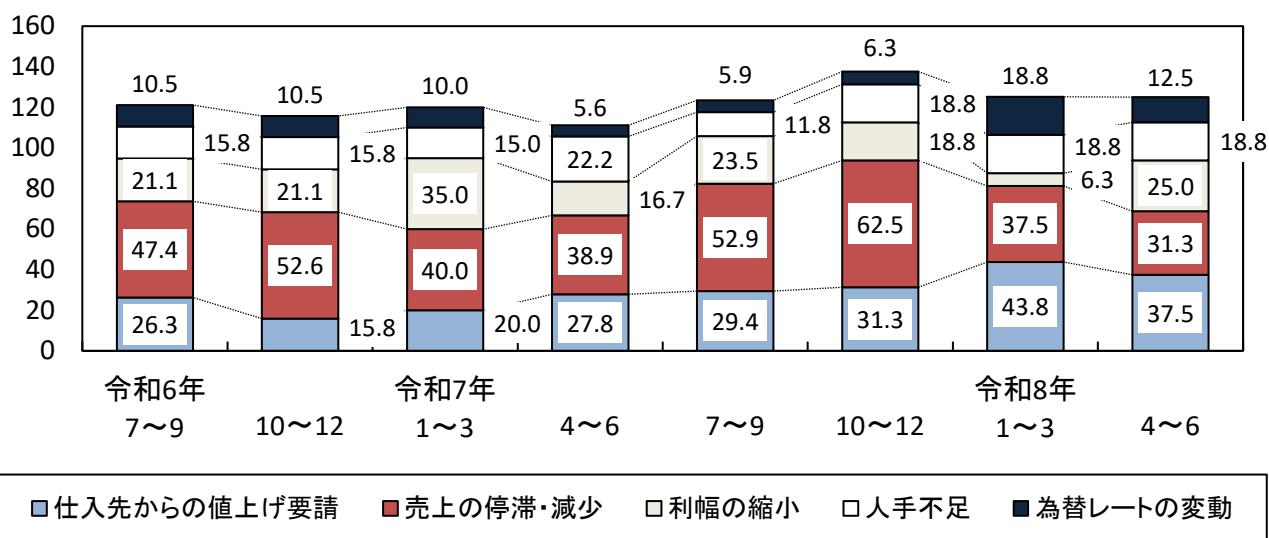
経営上の問題点は、1位は「仕入先からの値上げ要請」で37.5%となった。次いで2位は「売上の停滞・減少」で31.3%、3位は「利幅の縮小」で25.0%となった。以下、4位は「人手不足」18.8%、5位は「為替レートの変動」「同業者間の競争の激化」「販売商品の不足」でいずれも12.5%となった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」で37.5%となった。次いで2位は「経費を節減する」で25.0%、3位は「新しい事業を始める」で18.8%となった。以下、4位は「人材を確保する」で12.5%、5位は「労働条件を改善する」「品揃えを充実する」「情報力を強化する」「提携先を見つける」「教育訓練を強化する」「流通経路の見直しをする」「輸入品の取扱いを増やす」でいずれも6.3%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

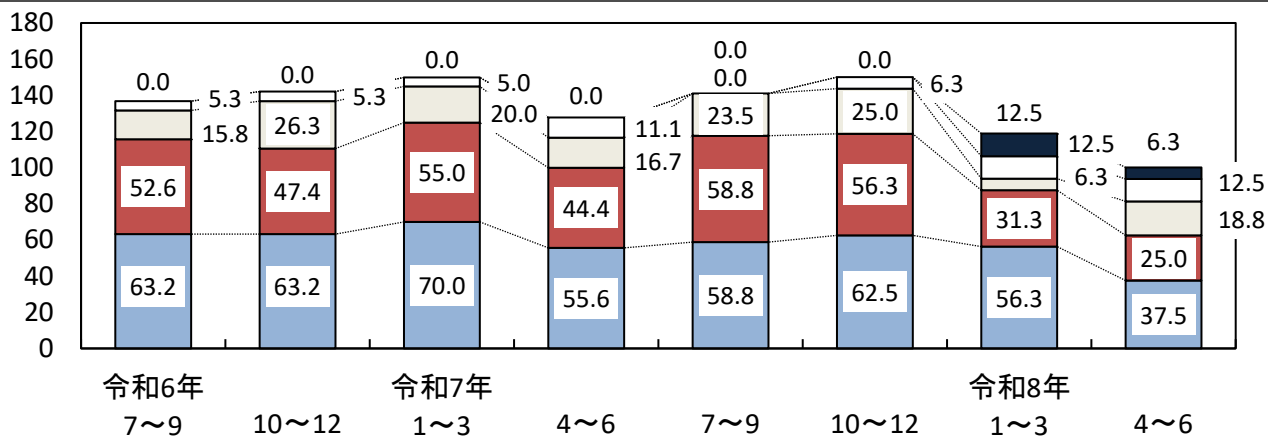


卸売業 経営上の問題点（％）



	令和7年7月～9月期	令和7年10月～12月期	令和8年1月～3月期	令和8年4月～6月期
第1位	売上の停滞・減少 52.9 %	売上の停滞・減少 62.5 %	仕入先からの値上げ要請 43.8 %	仕入先からの値上げ要請 37.5 %
第2位	仕入先からの値上げ要請 29.4 %	仕入先からの値上げ要請 31.3 %	売上の停滞・減少 37.5 %	売上の停滞・減少 31.3 %
第3位	利幅の縮小 23.5 %	利幅の縮小 18.8 % 人手不足 18.8 %	同業者間の競争の激化 25.0 %	利幅の縮小 25.0 %
第4位	大手企業・工場の縮小・撤退 11.8 % 人件費の増加 11.8 % 人手不足 11.8 % 同業者間の競争の激化 11.8 % 取扱商品の陳腐化 11.8 %	取扱商品の陳腐化 12.5 % 同業者間の競争の激化 12.5 %	為替レートの変動 18.8 % 人手不足 18.8 %	人手不足 18.8 %
第5位	流通経路の変化による競争の激化 5.9 % 小口注文・多頻度配送の増加 5.9 % 販売納入先からの値下げ要請 5.9 % 取引先の減少 5.9 % 為替レートの変動 5.9 %	小口注文・多頻度配送の増加 6.3 % 販売納入先からの値下げ要請 6.3 % 人件費の増加 6.3 % 地場産業の衰退 6.3 % 為替レートの変動 6.3 % 大手企業・工場の縮小・撤退 6.3 %	人件費の増加 12.5 %	為替レートの変動 12.5 % 同業者間の競争の激化 12.5 % 販売商品の不足 12.5 %

卸売業 重点経営施策（％）



■ 販路を広げる
 ■ 経費を節減する
 □ 新しい事業を始める
 □ 人材を確保する
 ■ 労働条件を改善する

	令和7年7月～9月期	令和7年10月～12月期	令和8年1月～3月期	令和8年4月～6月期
第1位	経費を節減する 58.8 % 販路を広げる 58.8 %	販路を広げる 62.5 %	販路を広げる 56.3 %	販路を広げる 37.5 %
第2位	新しい事業を始める 23.5 %	経費を節減する 56.3 %	経費を節減する 31.3 %	経費を節減する 25.0 %
第3位	流通経路の見直しをする 17.6 %	新しい事業を始める 25.0 %	労働条件を改善する 12.5 % 人材を確保する 12.5 % 提携先を見つける 12.5 % 品揃えを充実する 12.5 % 情報力を強化する 12.5 %	新しい事業を始める 18.8 %
第4位	取引先を支援する 5.9 % 品揃えを充実する 5.9 % 情報力を強化する 5.9 % 提携先を見つける 5.9 % 教育訓練を強化する 5.9 %	提携先を見つける 12.5 %	新しい事業を始める 6.3 % 不動産の有効活用を図る 6.3 %	人材を確保する 12.5 %
第5位		流通経路の見直しをする 6.3 % 品揃えを充実する 6.3 % 情報力を強化する 6.3 % 人材を確保する 6.3 %		労働条件を改善する 6.3 % 品揃えを充実する 6.3 % 情報力を強化する 6.3 % 提携先を見つける 6.3 % 教育訓練を強化する 6.3 % 流通経路の見直しをする 6.3 % 輸入品の取扱いを増やす 6.3 %

小 売 業

業況・売上額・収益

小売業の主要指標をみると、業況は△21.1 で前期比 9.3 ポイント減と大きく低調感が強まった。売上額は△1.4 で 8.0 ポイント増と大幅に持ち直し、収益は△19.3 で 3.4 ポイント減とやや減益幅が拡大した。来期の見通しについては、業況は今期同様の厳しさが続き、売上額は減少幅が幾分拡大し、収益は今期同様の減益が続く見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は 39.0 で 5.7 ポイント増と大きく上昇傾向が強まり、仕入価格は 61.0 で 23.5 ポイント増と極端に上昇幅が拡大した。在庫は 9.2 で 7.7 ポイント増と適正水準から過剰となった。来期の見通しについては、販売価格、仕入価格はともに上昇傾向が大幅に弱まり、在庫は過剰感が若干強まる見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

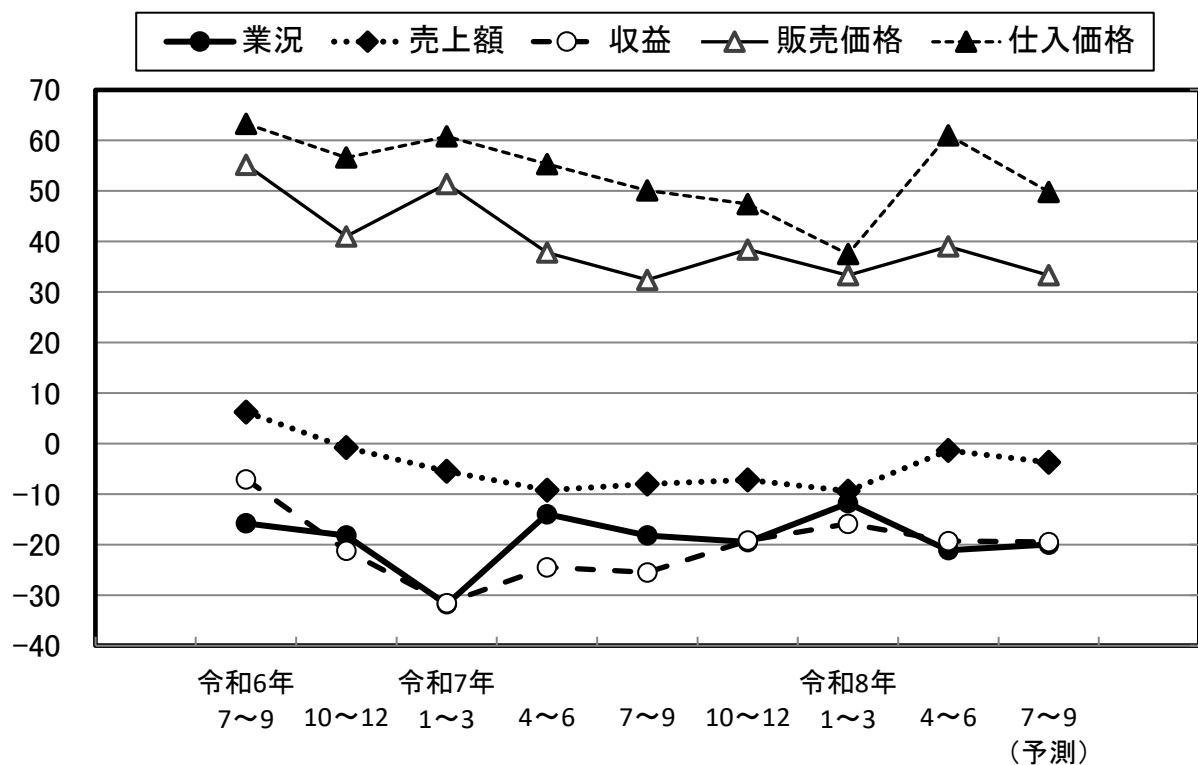
資金繰りは△11.5 で 5.6 ポイント増とかなり窮屈感が緩和した。借入難易度は△4.1 で増減なく推移し、借入をした企業は 17.9%で 3.6 ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 3.7%で 0.1 ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは今期同様の厳しさで推移し、借入をする企業は今期並となり、設備投資を実施する企業はやや減少する見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

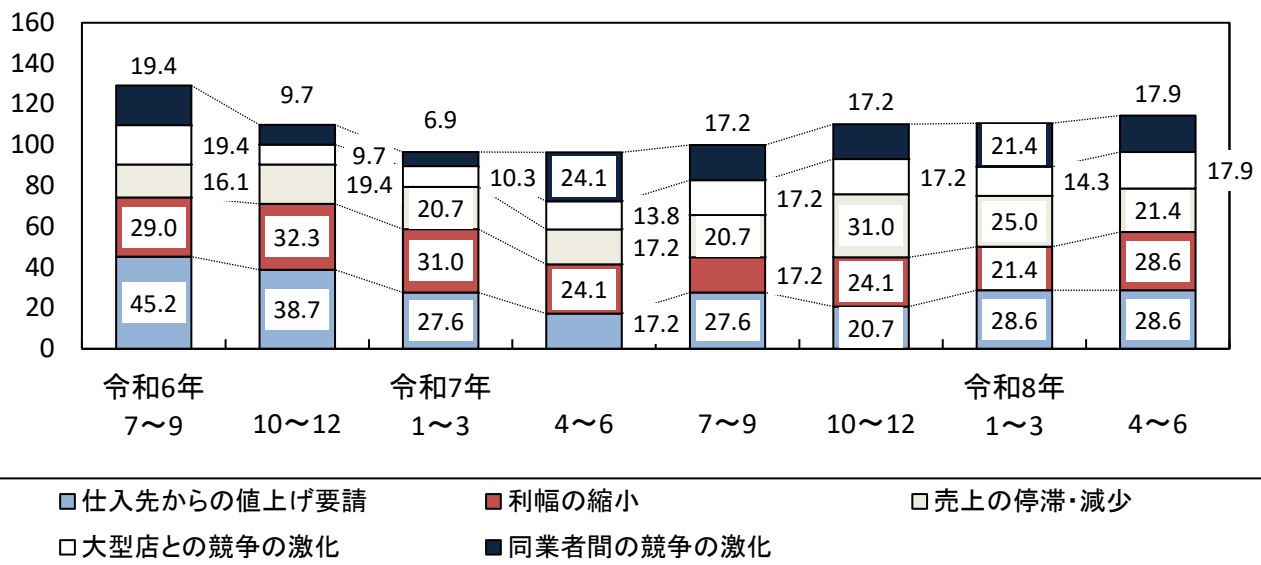
経営上の問題点については、1 位は「仕入先からの値上げ要請」「利幅の縮小」でともに 28.6%となった。次いで 2 位は「売上の停滞・減少」で 21.4%、3 位は「大型店との競争の激化」「同業者間の競争の激化」でともに 17.9%となった。以下、4 位は「商店街の集客力の低下」で 14.3%、5 位は「人件費の増加」で 10.7%となった。

重点経営施策では、1 位は「経費を節減する」で 50.0%となった。次いで 2 位は「仕入先を開拓・選別する」「品揃えを改善する」でともに 21.4%、3 位は「売れ筋商品を取り扱う」17.9%となった。以下、4 位は「宣伝・広告を強化する」で 14.3%、5 位は「店舗・設備を改装する」「機械化を推進する」でともに 7.1%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

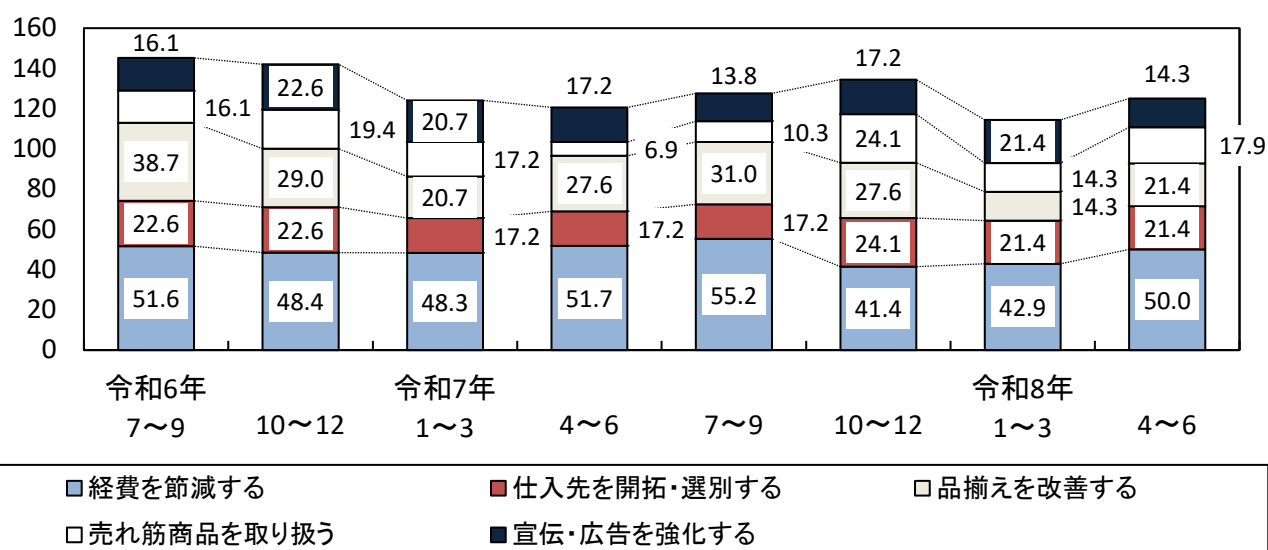


小売業 経営上の問題点（％）



	令和7年7月～9月期	令和7年10月～12月期	令和8年1月～3月期	令和8年4月～6月期
第1位	仕入先からの値上げ要請 27.6 %	売上の停滞・減少 31.0 %	仕入先からの値上げ要請 28.6 %	仕入先からの値上げ要請 28.6 % 利幅の縮小 28.6 %
第2位	売上の停滞・減少 20.7 %	利幅の縮小 24.1 %	売上の停滞・減少 25.0 %	売上の停滞・減少 21.4 %
第3位	利幅の縮小 17.2 % 大型店との競争の激化 17.2 % 同業者間の競争の激化 17.2 %	仕入先からの値上げ要請 20.7 %	利幅の縮小 21.4 % 同業者間の競争の激化 21.4 %	大型店との競争の激化 17.9 % 同業者間の競争の激化 17.9 %
第4位	人件費の増加 13.8 % 天候の不順 13.8 %	大型店との競争の激化 17.2 % 同業者間の競争の激化 17.2 %	商店街の集客力の低下 14.3 % 大型店との競争の激化 14.3 % 人件費の増加 14.3 %	商店街の集客力の低下 14.3 %
第5位	商店街の集客力の低下 10.3 %	商店街の集客力の低下 13.8 % 天候の不順 13.8 %	輸入製品との競争の激化 7.1 % 天候の不順 7.1 %	人件費の増加 10.7 %

小 売 業 重 点 経 営 施 策 (%)



	令和7年7月～9月期	令和7年10月～12月期	令和8年1月～3月期	令和8年4月～6月期
第1位	経費を節減する 55.2 %	経費を節減する 41.4 %	経費を節減する 42.9 %	経費を節減する 50.0 %
第2位	品揃えを改善する 31.0 %	品揃えを改善する 27.6 %	仕入先を開拓・選別する 21.4 % 宣伝・広告を強化する 21.4 %	仕入先を開拓・選別する 21.4 % 品揃えを改善する 21.4 %
第3位	仕入先を開拓・選別する 17.2 %	売れ筋商品を取り扱う 24.1 % 仕入先を開拓・選別する 24.1 %	売れ筋商品を取り扱う 14.3 % 品揃えを改善する 14.3 %	売れ筋商品を取り扱う 17.9 %
第4位	宣伝・広告を強化する 13.8 %	宣伝・広告を強化する 17.2 %	商店街事業を活性化させる 7.1 % 教育訓練を強化する 7.1 %	宣伝・広告を強化する 14.3 %
第5位	売れ筋商品を取り扱う 10.3 %	商店街事業を活性化させる 10.3 %	新しい事業を始める 3.6 % 機械化を推進する 3.6 % 人材を確保する 3.6 %	店舗・設備を改装する 7.1 % 機械化を推進する 7.1 %

サービス業

業況・売上額・収益

サービス業の主要指標をみると、業況は $\Delta 7.9$ で前期比 7.2 ポイント減と大きく低調感が強まった。売上額は 6.4 で 1.0 ポイント減と前期同様の増加が続き、収益は 1.3 で 2.7 ポイント減とやや増加幅が縮小した。来期の見通しについては、業況は今期同様の厳しさとなり、売上額は増加幅が若干縮小し、収益は増加から減益に転じる見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、料金価格は 16.8 で 8.4 ポイント減とかなり上昇幅が縮小し、材料価格は 56.7 で 7.4 ポイント増と大きく上昇傾向が強まった。来期の見通しについては、料金価格はやや上昇幅が拡大し、材料価格は上昇が大幅に弱まる見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

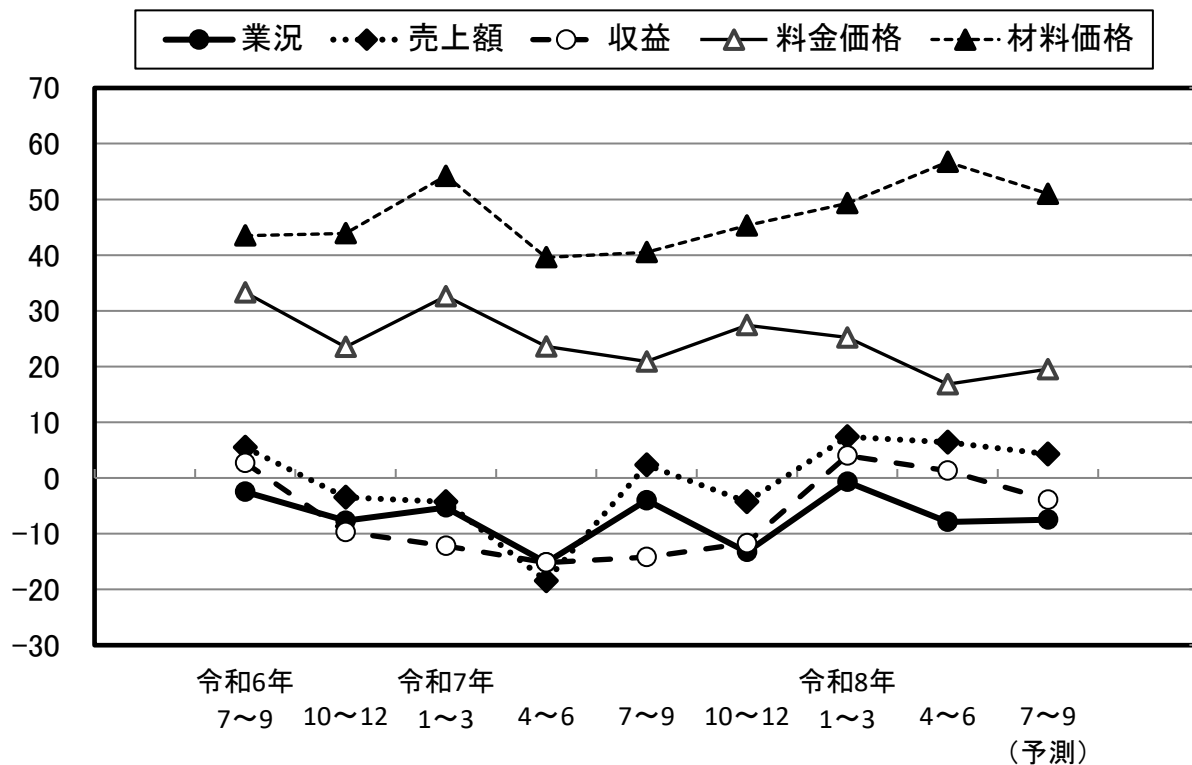
資金繰りは $\Delta 4.5$ で 1.0 ポイント減と前期並の苦しさとなり、借入難易度は 0.0 で前期同様となった。借入をした企業は 13.5%で 9.6 ポイント減少した。設備投資を実施した企業は 13.9%で 4.0 ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感がわずかに緩和し、借入をする企業は今期並となり、設備投資を実施する企業は多少増加する見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

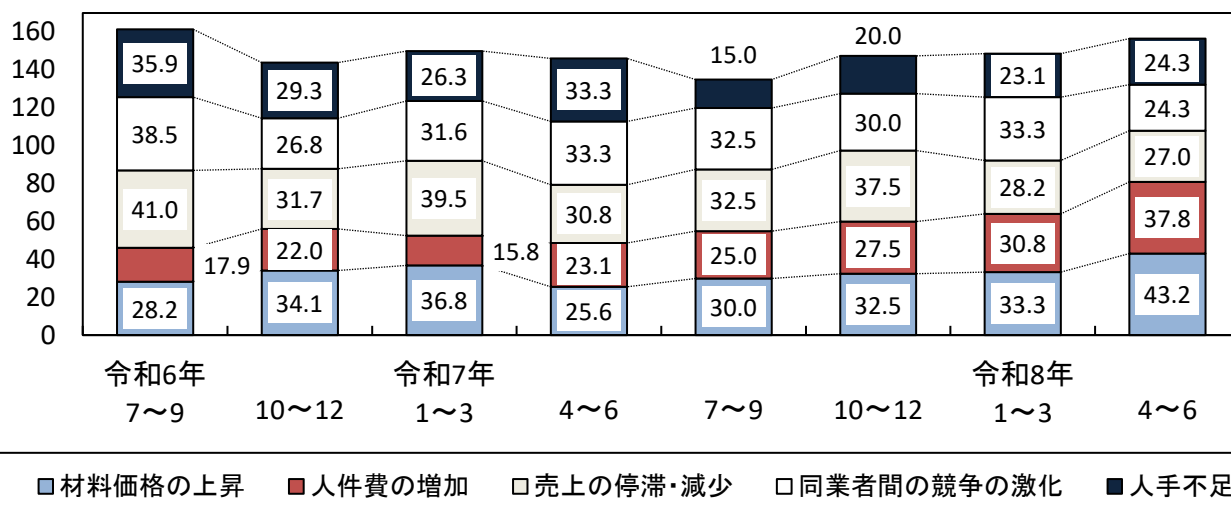
経営上の問題点は、1 位は「材料価格の上昇」で 43.2%となった。次いで 2 位は「人件費の増加」で 37.8%、3 位は「売上の停滞・減少」で 27.0%となった。以下、4 位は「同業者間の競争の激化」「人手不足」でともに 24.3%、5 位は「利幅の縮小」で 13.5%となった。

重点経営施策では、1 位は「経費を節減する」で 51.4%となった。次いで 2 位は「販路を広げる」で 29.7%、3 位は「人材を確保する」で 18.9%となった。以下、4 位は「宣伝・広告を強化する」で 13.5%、5 位は「提携先を見つける」で 10.8%となった。

業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

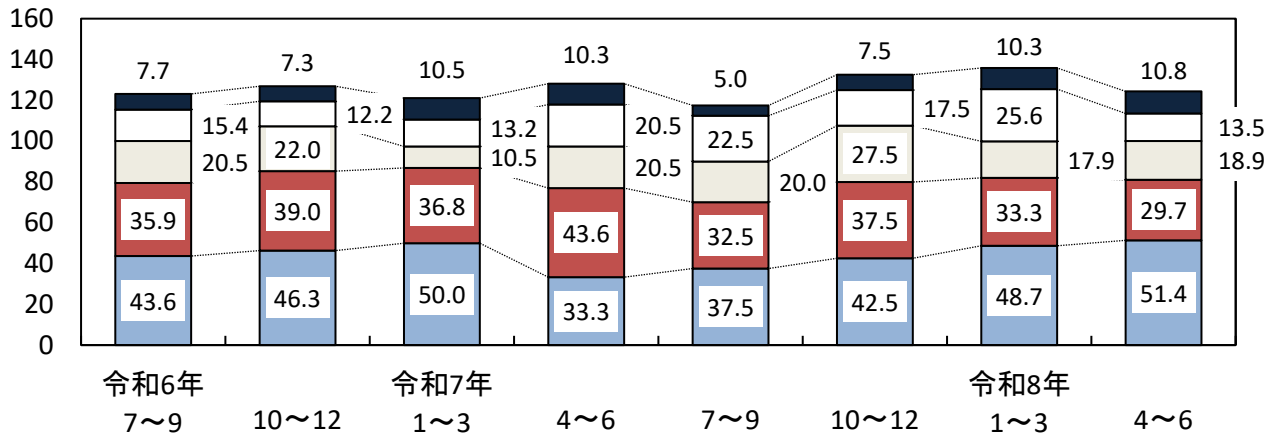


サービス業 経営上の問題点（％）



	令和7年7月～9月期	令和7年10月～12月期	令和8年1月～3月期	令和8年4月～6月期
第1位	同業者間の競争の激化 32.5 % 売上の停滞・減少 32.5 %	売上の停滞・減少 37.5 %	材料価格の上昇 33.3 % 同業者間の競争の激化 33.3 %	材料価格の上昇 43.2 %
第2位	材料価格の上昇 30.0 %	材料価格の上昇 32.5 %	人件費の増加 30.8 %	人件費の増加 37.8 %
第3位	人件費の増加 25.0 %	同業者間の競争の激化 30.0 %	売上の停滞・減少 28.2 %	売上の停滞・減少 27.0 %
第4位	利幅の縮小 17.5 %	人件費の増加 27.5 %	人手不足 23.1 %	同業者間の競争の激化 24.3 % 人手不足 24.3 %
第5位	人手不足 15.0 %	人手不足 20.0 %	利幅の縮小 15.4 %	利幅の縮小 13.5 %

サービス業 重点経営施策（％）



■経費を節減する ■販路を広げる □人材を確保する □宣伝・広告を強化する ■提携先を見つける

	令和7年7月～9月期		令和7年10月～12月期		令和8年1月～3月期		令和8年4月～6月期	
第1位	経費を節減する	37.5 %	経費を節減する	42.5 %	経費を節減する	48.7 %	経費を節減する	51.4 %
第2位	販路を広げる	32.5 %	販路を広げる	37.5 %	販路を広げる	33.3 %	販路を広げる	29.7 %
第3位	宣伝・広告を強化する	22.5 %	人材を確保する	27.5 %	宣伝・広告を強化する	25.6 %	人材を確保する	18.9 %
第4位	人材を確保する	20.0 %	宣伝・広告を強化する	17.5 %	人材を確保する	17.9 %	宣伝・広告を強化する	13.5 %
第5位	店舗・設備を改装する	15.0 %	店舗・設備を改装する	12.5 %	技術力を強化する	10.3 %	提携先を見つける	10.8 %
					提携先を見つける	10.3 %		

建設業

業況・売上額・収益・受注残・施工高

建設業の主要指標をみると、業況は 15.6 で前期比 10.4 ポイント増と大きく好調感が強まった。施工高は 31.9 で 16.2 ポイント増と大幅に好調さを強め、売上額は 14.1 で 1.8 ポイント増とやや増加幅が拡大し、受注残は 1.3 で 13.1 ポイント減とかなり後退し、収益は△3.9 で 5.1 ポイント減と増加から減益に転じた。来期の見通しについて、業況は今期並の良好感が続く見込み。受注残は増加幅がわずかに拡大し、売上額は多少後退し、施工高は増加幅が大きく縮小し、収益は減益幅がかなり拡大する見通し。

価格・在庫動向

価格動向については、請負価格は 37.8 で 0.6 ポイント減と前期並となり、材料価格は 62.9 で 5.7 ポイント減と大幅に上昇傾向が弱まった。在庫は△6.7 で 8.0 ポイント減と適正水準から不足となった。来期の見通しについては、請負価格はかなり上昇幅が縮小し、材料価格は上昇傾向が幾分強まり、在庫は不足感が若干改善する見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

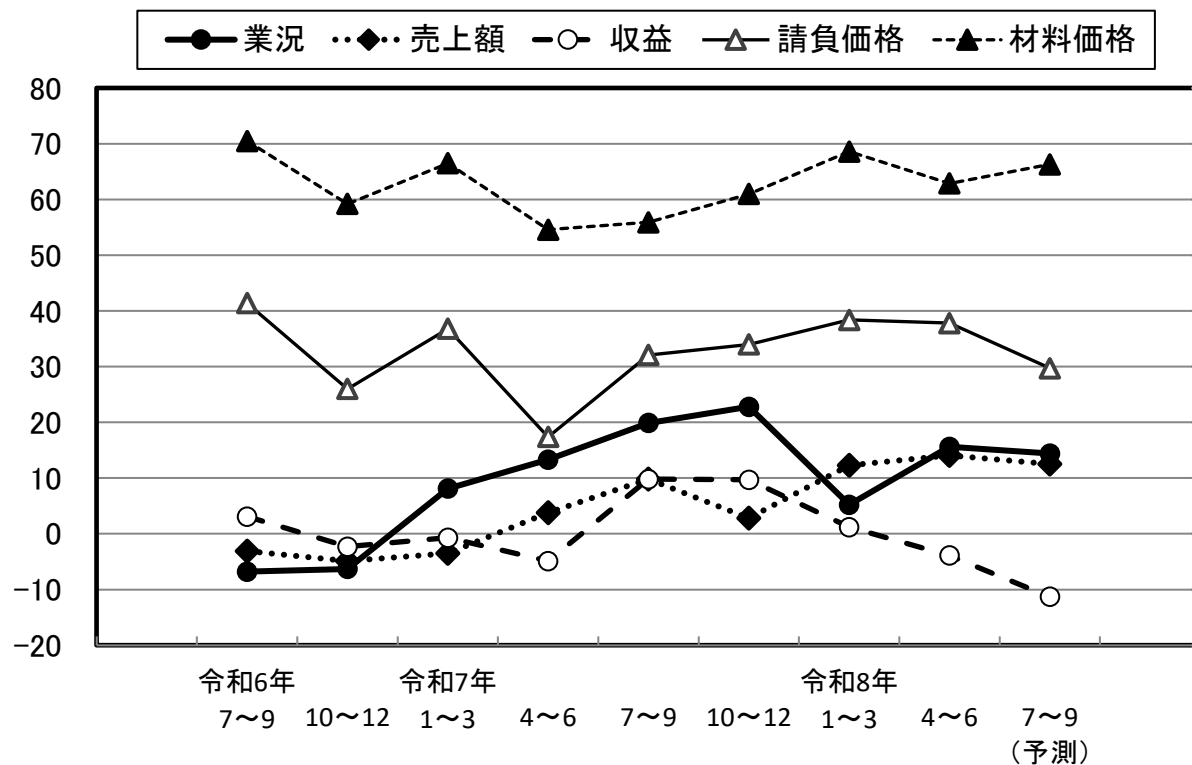
資金繰りは 8.4 で 4.1 ポイント増とやや容易さが増し、借入難易度は 0.0 で前期同様となった。借入をした企業は 17.9%で 5.4 ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 10.7%で 0.7 ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは容易さが多少増し、借入をする企業は大きく減少し、設備投資を実施する企業は今期同様となる見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

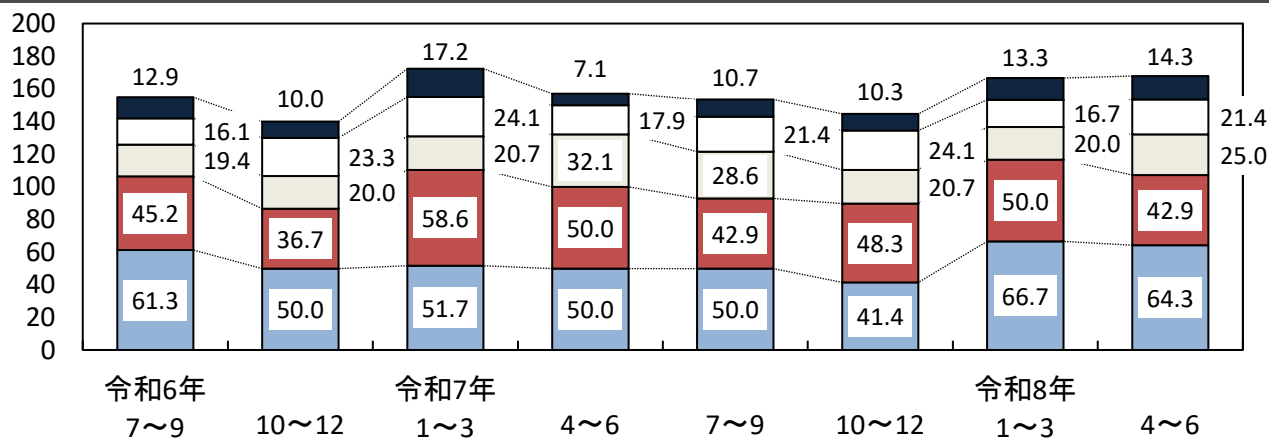
経営上の問題点は、1 位は「材料価格の上昇」で 64.3%となった。次いで 2 位は「人手不足」で 42.9%、3 位は「売上の停滞・減少」で 25.0%となった。以下、4 位は「同業者間の競争の激化」で 21.4%、5 位は「下請の確保難」「利幅の縮小」でともに 14.3%となった。

重点経営施策は、1 位は「経費を節減する」で 57.1%となった。次いで 2 位は「人材を確保する」で 46.4%、3 位は「販路を広げる」で 35.7%となった。以下、4 位は「技術力を高める」で 25.0%、5 位は「情報力を強化する」で 10.7%となった。

業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測



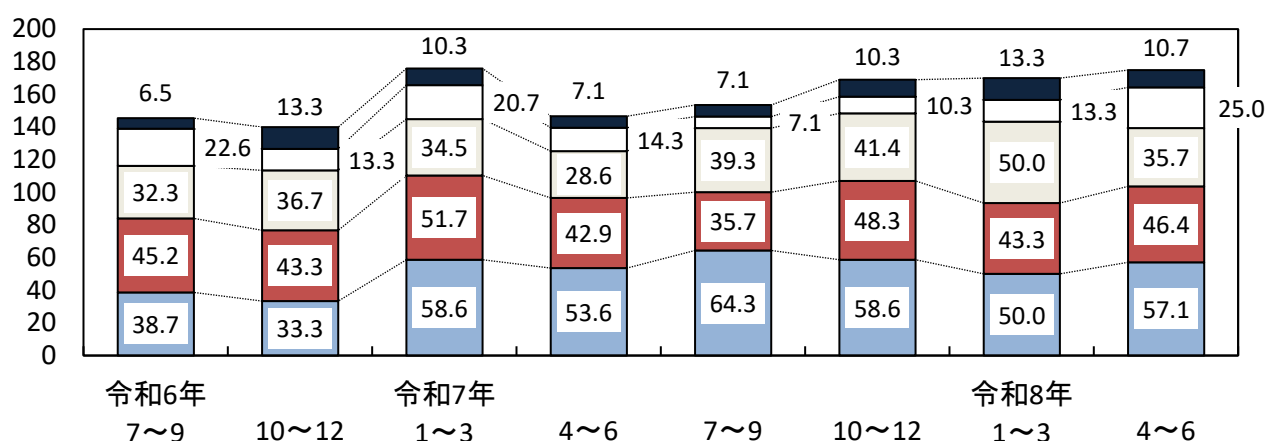
建設業 経営上の問題点（％）



■ 材料価格の上昇 ■ 人手不足 □ 売上の停滞・減少 □ 同業者間の競争の激化 ■ 下請の確保難

	令和7年7月～9月期		令和7年10月～12月期		令和8年1月～3月期		令和8年4月～6月期	
第1位	材料価格の上昇	50.0 %	人手不足	48.3 %	材料価格の上昇	66.7 %	材料価格の上昇	64.3 %
第2位	人手不足	42.9 %	材料価格の上昇	41.4 %	人手不足	50.0 %	人手不足	42.9 %
第3位	売上の停滞・減少	28.6 %	人件費の増加	27.6 %	売上の停滞・減少	20.0 %	売上の停滞・減少	25.0 %
第4位	同業者間の競争の激化	21.4 %	同業者間の競争の激化	24.1 %	同業者間の競争の激化	16.7 %	同業者間の競争の激化	21.4 %
第5位	人件費の増加	17.9 %	売上の停滞・減少	20.7 %	人件費の増加	13.3 %	下請の確保難	14.3 %
					下請の確保難	13.3 %	利幅の縮小	14.3 %

建設業 重点経営施策（％）



■ 経費を節減する
 ■ 人材を確保する
 □ 販路を広げる
 □ 技術力を高める
 ■ 情報力を強化する

	令和7年7月～9月期		令和7年10月～12月期		令和8年1月～3月期		令和8年4月～6月期	
第1位	経費を節減する	64.3 %	経費を節減する	58.6 %	経費を節減する	50.0 %	経費を節減する	57.1 %
					販路を広げる	50.0 %		
第2位	販路を広げる	39.3 %	人材を確保する	48.3 %	人材を確保する	43.3 %	人材を確保する	46.4 %
第3位	人材を確保する	35.7 %	販路を広げる	41.4 %	労働条件を改善する	16.7 %	販路を広げる	35.7 %
第4位	労働条件を改善する	14.3 %	労働条件を改善する	17.2 %	技術力を高める	13.3 %	技術力を高める	25.0 %
					情報力を強化する	13.3 %		
第5位	教育訓練を強化する	10.7 %	技術力を高める	10.3 %	教育訓練を強化する	3.3 %	情報力を強化する	10.7 %
			情報力を強化する	10.3 %	不動産の有効活用を図る	3.3 %		